

各〔都道府県
指定都市
中核市〕 介護保険担当主管部（局） 御中

各〔都道府県
市町村
特別区〕 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室
厚生労働省老健局高齢者支援課
厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課
厚生労働省老健局老人保健課

高齢者施設等における新型コロナワクチンの4回目接種について

新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、日々ご尽力及びご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和4年4月27日に開催された第32回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（以下「分科会」という。）において、特例臨時接種として新型コロナワクチンの更なる追加接種（以下「4回目接種」という。）を実施することが了承されるとともに、その対象者、新型コロナワクチンの追加接種（以下「3回目接種」という。）からの接種間隔等についても方針が取りまとめられました。

今後、必要な法令改正等を経て施行される予定ですが、高齢者施設等の入所者等の接種について、現時点で想定される内容の下記のとおりお知らせします。重症化リスクの高い高齢者施設等の入所者等について速やかな接種が行われるよう、衛生部局と介護保険担当主幹部局の連携のうえご対応をお願いいたします。

記

1. 対象者

4回目接種の対象者については、分科会において、3回目接種の完了から5か月以上が経過した60歳以上の者及び18歳以上60歳未満の者のうち、基礎疾患を有する者その他新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認める者（以下「基礎疾患を有する者等」という。）とすることが適当であるとされた。基礎疾患の具体的な内容としては、自治体向け手引き（7.1版）第2章2（2）アの表1に列挙するものが想定されるため、同表を参照すること。

高齢者施設等の入所者等の大半は、60歳以上の者として4回目接種の対象となる。また、従事者については、60歳以上の者に加え、18歳以上60歳未満であって基礎疾患を有する者等に該当する場合、接種の対象となる。

2. 高齢者施設等での接種体制の構築について

各市町村においては、管内の高齢者施設等に対して速やかに4回目接種について案内を行い、可能な限り早期に高齢者施設等の入所者等に対する接種体制を構築すること。この際、「高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症に係る予防接種（追加接種）に係る実施の徹底と進捗状況の実態調査への依頼について（その2）」（令和4年2月18日厚生労働省健康局健康課予防接種室等事務連絡）においてお示しした、高齢者施設等での接種での課題への対応方策（別添1）も参考に、各施設の課題に応じて支援を行うこと。また、都道府県は、こうした市町村の取組について広域的な支援をされたい。

3. 自治体における進捗管理等について

各市町村においては、管内の高齢者施設等と密接に連携し、接種の進捗状況を把握し、3回目接種から5か月経過後の可能な限り早期に、より多くの希望する入所者等が接種を受けられるよう、施設の取組の進捗を管理されたい。3回目接種の際には、別添2（令和4年2月18日自治体説明会資料抜粋）にあるように、県が高齢者施設等での接種での進捗状況を把握し、速やかに接種を進めた事例がみられたところであり、都道府県は、管内市町村の取組について把握し、都道府県全体の高齢者施設等での接種の進捗管理をされたい。

4. 接種状況調査について

今後、3回目接種時と同様に、高齢者施設等での4回目接種について、接種状況調査を行い、結果を公表する予定であるので、ご了解願いたい。高齢者施設等での3回目接種は、「高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症に係る予防接種（追加接種）進捗状況の実態再調査の結果について」（令和4年3月15日厚生労働省健康局健康課予防接種室等事務連絡）でお示したとおり、

- ・ 88%の高齢者施設等で本年2月末までに、
- ・ 95%の高齢者施設等で本年3月中旬までに接種が完了している。

こうした3回目接種の完了時期から5か月間経過する時期を念頭に、本年7月末までの接種の実施状況と8月末までの接種実施の見込みを調査し、公表する。調査にあたっては、都道府県において管内市町村の状況を取りまとめ、ご報告いただくことを予定しているところ、詳細については追って連絡する。これを踏まえて高齢者施設等における接種の進捗管理を行っていただきたい。

以上

2 月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策①

高齢者施設等における 3 回目接種の実態調査（集計中）で挙げられた 2 月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策は次のとおり。

2 月末までに接種完了しない主な理由

- 初回接種が遅く、6 か月経過していない入所者等がいるため。



考えられる対応策

- 入所者等の全体ではなく、一部の方の初回接種の時期が遅い場合には、3 回目接種を複数回に分けて行うことにより、2 回目接種から 6 か月を経過した方への接種機会を確保することが可能です。

高齢者施設での参考事例

【事例 1：特定施設入居者生活介護】**住民接種と組み合わせた自治体の対応が有効**

⇒入所者については施設内で接種することとしたが、従事者については自治体が設置した接種センターでの接種を案内した。

2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策②

高齢者施設等における3回目接種の実態調査（集計中）で挙げられた2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策は次のとおり。

2月末までに接種完了しない主な理由

- 施設において、接種体制の確保等の準備に時間を要したため。



考えられる対応策

- 施設が接種を行う医療機関が見つけれない場合には、自治体が医療機関との仲介を行うことが考えられます。
- 自治体が巡回接種を行う場合、通常の接種に要する費用（2,070円）を超える部分について新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の、大規模接種会場が巡回接種を行う場合には、新型コロナウイルス感染症緊急支援包括交付金の対象になります。

高齢者施設での参考事例

【事例1：特定施設入居者生活介護】**自治体による対応が有効**

⇒可能な限り、2月中に接種できるよう、ホームが主体となって協力医療機関と連携/調整した。調整がうまくいかないホームに関しては、自治体が仲介し、協力医療機関以外での接種を調整した。

【事例2：特別養護老人ホーム】**自治体の臨機応変な対応が有効**

⇒B町では、体調不良などで所定の日に接種できない入所者のために、福祉課やコロナチームの調整により、改めて施設に来てくれるよう手配してくれることになった。

2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策③

高齢者施設等における3回目接種の実態調査（集計中）で挙げられた2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策は次のとおり。

2月末までに接種完了しない主な理由

- 施設側が早期接種を希望していなかったため。



考えられる対応策

- 3回目接種は、発症予防・重症化予防の観点から極めて重要であること、また、既存ワクチンもオミクロン株に対する発症予防効果や入院予防効果が確認されていることを説明し、可能な限り早期の接種を検討頂く。

高齢者施設での参考事例

【事例1：介護老人保健施設】 **自治体からの連絡が有効**

⇒ C市から早期接種のメリットについての連絡があり、事業所の判断のもと同一法人の医療機関で接種することとした。

2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策④

高齢者施設等における3回目接種の実態調査（集計中）で挙げられた2月末までに接種完了しない主な理由と考えられる対応策は次のとおり。

2月末までに接種完了しない主な理由

- 施設側が、接種券が揃ってから接種する意向だったため。



考えられる対応策

- 1月27日の事務連絡「追加接種の速やかな実施のための接種券の早期発行等について」において、接種券なし接種の事務が簡素化されていることも踏まえ接種券なし接種の実施についてご検討いただく。

高齢者施設での参考事例

【事例1：介護老人保健施設】 **自治体からの連絡が有効**

⇒接種券無しでも進めてよいという連絡がD市からあり、実施した。

【事例2：認知症対応型共同生活介護】 **自治体の臨機応変な対応が有効**

⇒法人で入居者・職員の名簿をE市に提出し、3回目接種券を法人で一括受領した。

取組例① ～岐阜県～

岐阜県は2月末までにほぼ全ての高齢者施設で接種完了見込み

岐阜県の取組

- 初回接種時から市町村支援チームにより、市町村の接種状況のフォローアップを実施。
- また、高齢者接種にあたり、初回接種時から高齢者施設の入所者及び従事者から優先的に接種するよう方針を合意し接種を促進。
- 追加接種（3回目接種）の県基本方針の中で、初回接種同様、高齢者施設入所者、従事者等への優先接種を明記。
- 昨年末の国前倒し方針を踏まえ、県として各市町村に対し早々に高齢者施設の接種開始の前倒しを文書で要請。
 - ※ 併せて、岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会（各市町村長出席）においても副知事から、直接依頼。
- その後、前倒し後の接種開始日を確認し、その結果に応じて更なる前倒しを適宜働きかけ。
 - ※ さらに、総務省から「2月末までの接種対象者のうち希望者への接種完了見込み」に関する調査が行われた際には、高齢者施設の入所者等を含めた接種計画の一層の前倒しを働きかけ。
- 接種開始後は毎週、高齢者施設を含む接種の進捗状況をフォローアップ。

取組例② ～茨城県～

茨城県は2月末までに96%の高齢者施設で接種完了見込み

茨城県ご提供資料

茨城県の新型コロナワクチン追加接種に係る対応

ワクチン接種の加速

■ 市町村と連携し、**最大限前倒しで3回目接種を進めます。**

※**高齢者等の接種は2月中に完了予定、その他の方も順次開始**

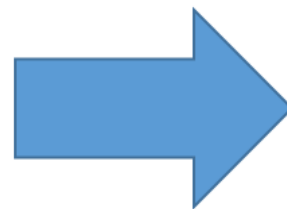
➡ 県も**大規模接種会場を設置し、ワクチン接種を推進します。**

（5会場：2月2日から順次再開）

※**高齢者施設等については、2月10日までの接種完了を目指す。**

具体的な取り組み

- 知事の強いリーダーシップによる早期の接種開始
- 県からの県（郡市）医師会及び市町村への協力依頼
- 市町村による医療機関への前倒し接種依頼・調整
- 施設への接種チーム派遣による直接支援
- 電子申請システムを活用した施設の接種者管理
- 接種率の低い施設に対しての個別の働きかけ



福祉施設の2月末
接種完了見込
96%